

大阪府立豊中高等学校 学校運営協議会 議事録

校名	府立豊中高等学校
校長名	湯峯 郁子

開催日時	令和 6年 6月 24日(金) 15:30~17:00
開催場所	大阪府立豊中高等学校 校長室
出席者(委員)	木原俊行委員、中西正人委員、後藤崇志委員 浅田勝利委員、田中明美委員、舛井守委員
出席者(学校)	湯峯郁子校長、山下尚紀教頭、橋本知幸事務長 志方洋介首席、川口峰広首席、岡田大樹進路指導主事
傍聴者	無し
協議資料	令和5年度学校経営計画及び学校評価 スクールポリシー(案) GLHS評価シート 令和6年度学校経営計画及び学校評価 進路資料
備考	

議題等(次第順)
1 校長挨拶 2 委員紹介及び事務局・出席者紹介 3 会長選任 4 会長挨拶 5 協議・報告 (1) 令和6年度 学校経営計画について (2) 令和5年度 学校評価について (3) スクール・ポリシーについて 6 提言 7 事務連絡
協議内容・承認事項等(意見の概要)
<令和5年度 学校評価について> ・2024年の国公立大学進学者は144名で、過去10年間の中で最も多かった。生徒が第1志望に最後までこだわったこと、担任団を中心として支援していく体制が実現できたこと、後期入試まで粘り強く受け続けたことを要因として分析している。 (委員)グローバルに活躍する人材育成のフォローアップが必要。進学実績を伸ばすとともに、グローバルに活躍できるリーダーシップが育成されているかを検証していかなければならない。
<スクールポリシーについて> (委員)こういった生徒に来てほしいのだからということがよく分かった。こういうやり方で進めていることはありがたい。 (委員)ポリシーとして掲げるだけでなく、カリキュラムや入試に取り入れられたり、評価に反映されることが大切だと思う。 (委員)多くの公立高校が定員割れをする中で、アドミッションポリシーがGLHS10校として意味のあるものにしていく必要がある。
<令和6年度 学校経営計画について> (委員)「入りたい学校、入って良かった学校であり続けるために、学校評価から得られる課題を教員全体で共有し改善するしくみを構築する」について、実際に学校評価から得られた課題を受けて、具体的に進めてほしい。 (回答)本校は2024年度も志願倍率が1.57倍と、比較的高った。しかし、本校の魅力や志願者の期待については分析が十分にはなされていない。この分析については現在進めているところである。
<提言> ・スクールポリシーは、学校がめざすものはイメージされて可視化されている。 ・さらに取り組みを一層充実させるためには、課題研究やSSHの取り組みについて、担当者だけでなく、全校的に共通理解や協力を進めていくことが重要である。 ・学校経営計画にあることは着実に、計画にないことも新体制の中でできることを、働き方改革を意識しつつ、教職員で協力して進めてほしい。

次回の会議日程	
日時	令和6年 10月30日(水) 16:00~
会場	大阪府立豊中高等学校 校長室